

2022

Tokamachi
City

令和4年度

令和4年2月16日

十日町市当初予算案



Snow Rich.
Tokamachi!

十日町市

目指すまちの姿

第2次十日町市総合計画 後期基本計画（R3～R7）

「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」



基本方針 4つの柱

令和4年度 一般会計・特別会計予算案

一般会計

367億7,000万円

前年度対比 +4億5,000万円 **+1.2%**

一般会計 及び 特別会計

505億1,840万円

前年度対比 +6億980万円 **+1.2%**

国保	: 49億3,500万円	△3,300万円
診療所	: 2億800万円	+710万円
訪問看護	: 3,480万円	+1,300万円
後期	: 6億8,800万円	+1,700万円
介護	: 78億6,500万円	+1億5,500万円
温泉	: 1,760万円	+70万円
	<u>137億4,840万円</u>	

令和4年度 一般会計予算案

<参考>

国補正に伴い、防災・減災・国土強靱化など、令和3年度補正予算と令和4年度予算にまたがる事業を含め、一体で16ヶ月予算として見た場合

令和3年度 国補正関連事業費 5億6,742万円

令和4年度 一般会計総額 367億7,000万円

373億3,742万円①

令和2年度 国補正関連事業費 2億4,084万円

令和3年度 一般会計総額 363億2,000万円

365億6,084万円②

前年度対比 (①-②) **+7億7,658万円**
(+2.1%)

健全な財政運営の取組み

● 将来負担の抑制

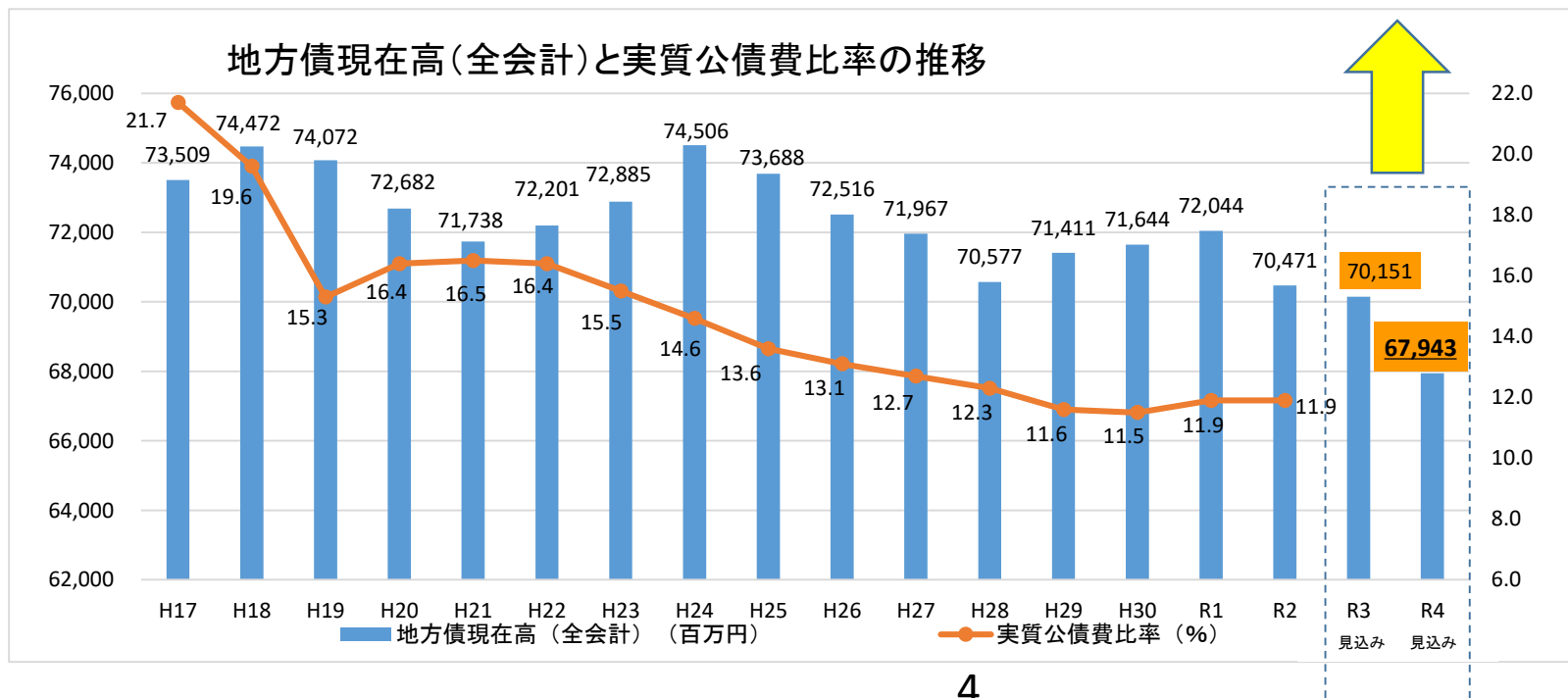
- ・市債を適切に活用しながらも、若い世代や子どもたちにとって過度な将来負担とならないよう、**プライマリーバランス**の安定的な黒字の確保に努め、**市債残高**を適正に管理

○ 地方債現在高（全会計）

令和3年度末（見込み） 701億5,095万円

令和4年度末（見込み） 679億4,338万円

前年度対比 △22億757万円 △3.1%



幼児教育・保育の充実

■ 特別保育の取組みを支援

(継続) 1億5,568万円

- ・ 未満児保育や障がい児保育、一時預かりなどの充実に取り組む私立保育施設を支援
- ・ 看護師や保育士の確保などに係る経費に対して補助金を交付
- ・ 県の補助要件を満たさない場合にも要件を緩和して市単独で支援

● 保育施設の改修を支援

(新規) 2,865万円

- ・ 大井田保育園と中里なかよし保育園の施設改修を支援
- ・ 屋上防水及び空調の改修工事に対して補助金を交付



子育て支援の充実

■ 第3子以降の保育料無償化を継続

(継続) 3,840万円

- ・多子世帯（18歳以下の児童3人以上）の経済的負担を軽減するため、対象児の保育料無償化（市独自施策）を継続
- ・対象児見込103人、平均保育料約37.3万円／人・年



■ 子どもの医療費を助成

(継続) 1億1,648万円

- ・小学校入学前までの子ども：入院・通院とも全額助成
- ・小学校から高校卒業までの子ども：
入院は全額助成、通院は一部負担金530円を超えた金額を助成



令和2年度の実績	助成件数	助成総額
	55,747件	90,949千円

1.人にやさしいまちづくり (1) 安心して子供を産み育てられるまち 妊娠・出産に関する支援の充実

● 令和4年度 十日町市予算案 ●

● 産後ケア事業の利用者負担軽減 (拡充) 135万円

- ・産後ケア事業の自己負担額を軽減
1日あたり宿泊5,000円を3,000円に、日帰り2,000円を1,000円に減額
※市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は、宿泊、日帰り共に自己負担なしに減額

■ 妊産婦の医療費を助成 (継続) 804万円

- ・妊産婦が支払う医療費（保険適用分）のうち、通院費の一部（530円）を除き、全額助成



学校教育の充実

● 通級指導教室の増設

(拡充) 1,065万円

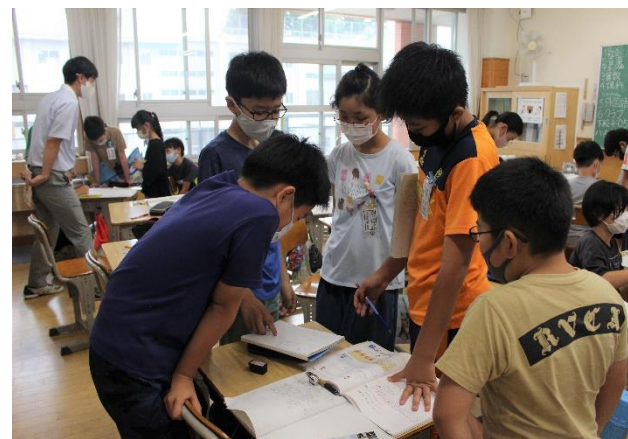
- ・ 通常学級に在籍しながら特別な支援を要する児童生徒に対応する通級指導教室を、十日町小学校に加え、千手小学校にも設置



● 居心地のよい学級づくりを支援

(拡充) 285万円

- ・ 不登校対策及び学力向上に有効な心理アンケート (WEBQU) を、小学3年生から中学3年生までに拡大して実施
- ・ WEBQUを有効に活用するための教職員への研修の充実



特色のある教育活動の推進

● 令和4年度 十日町市予算案 ●

■ 大地の芸術祭を活用した教育を推進

(継続) 267万円

- ・大地の芸術祭に向けて、児童生徒の作品制作や鑑賞を調整するための指導主事を配置



■ 小中一貫教育及びコミュニティ・スクールを推進

(継続) 332万円

- ・地域と連携した学校運営協議会の機能強化
- ・児童生徒による小中合同あいさつ運動や教職員による合同授業公開など、小中学校間の交流の促進



学校教育施設の整備

● 計画的な学校施設の整備

(拡充) 1億6,869万円

- ・ 小学校施設整備事業
 - 東小学校 駐車場改修、高架水槽更新
 - 下条小学校 プール改修
 - 吉田小学校 屋内体育館屋根改修 (ほか)
- ・ 中学校施設整備事業
 - 松代中学校 校舎屋上防水改修、空調設置
 - 十日町中学校 給水管布設替
 - 下条中学校 給水管布設替
 - 南中学校 校門・看板移設 (ほか)

■ 遊休教育財産を削減

(継続) 424万円

- ・ 教員住宅解体事業 : 山野田教員住宅 車庫一部解体
- ・ 小学校施設解体事業 : 馬場小学校 旧プール施設解体
旧貝野小学校 プール機械室解体



東小学校



下条小学校

福祉のまちづくりの推進

● 高齢者・障がい者の日常生活を 助ける団体への支援拡充

(拡充) 96万円

- ごみ捨て、掃除、調理、買い物、草取り、玄関先の除雪など、日常生活に困りごとがある高齢者や障がい者を助ける団体への助成額を1時間500円から1,000円に増額



● 新たに補聴器購入費用の助成

(新規) 37万円

- 日常生活での音の聞こえに不便のある方が、補聴器を購入する際の費用を助成

【助成額】

補聴器購入費用の1/2

【上限額】

非課税世帯 50,000円

課税世帯 25,000円



高齢者福祉の充実

【介護保険特別会計】

● もしものときのための「終活」・ 「人生会議」を支援

(拡充) 1,314万円

- ・ 成年後見制度の普及啓発・利用促進
- ・ 新たに**成年後見制度の中核機関**を設置
- ・ 終活・人生会議等の意識啓発
- ・ 財産管理や福祉サービス利用などの不安を解決

【介護保険特別会計】

■ 介護予防・生活支援サービスを推進

(継続) 684万円

- ・ **訪問型サービスB事業** 1回1,400円補助

※訪問型サービスB事業

地域住民が主体となり、自立支援を目的に要支援者等に対して、要介護状態になることを予防し、掃除、洗濯、ゴミ出しなどの生活援助・見守りを行うもの

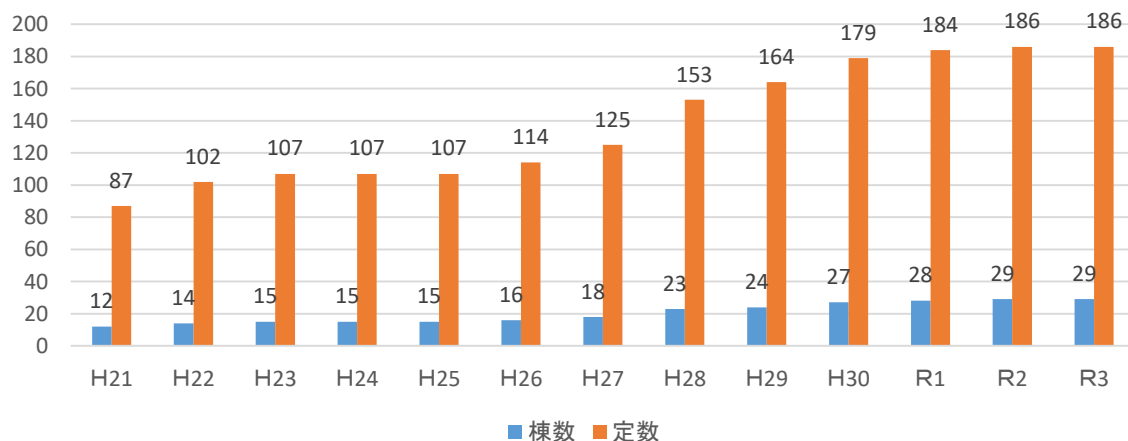


障がい者福祉の充実

■ 障がい者グループホームの開設を支援 (継続) 200万円

- 障がいのある方が住み慣れた地域で生活するために、グループホームを建設する法人等に対し、建設費用の一部を補助 (1棟に対し、補助上限額200万円)
- 棟数 29棟 定数186人 うち市内利用者134人 (R4年2月現在) 市外利用者 32人

GH棟数及び定数の推移



地域資源を活用した観光産業の推進

■ 文化観光の推進

(継続) 1億255万円

- ・清津峡溪谷歩道トンネル展示改修
- ・キョロコの森管理棟電気設備整備
- ・伝統技術継承人材育成
- ・周遊バスツアー造成
- ・大地の芸術祭電子パスポート機能強化 など



■ 日本遺産ストーリーを活用した地域活性化の取組み

(継続) 2,505万円

十日町市文化観光推進協議会の取組みに補助

- ・旅行商品開発のためのワークショップ及び市場調査
- ・日本遺産ガイド養成
- ・案内看板及び施設サイン等の作成 など



地域資源を活用した観光産業の推進

令和4年度 十日町市予算案

● アウトドア観光の推進

(拡充) 9,496万円

【節黒城跡キャンプ場】 1,207万円 (新規)

施設の修繕や整備計画の策定に着手

【清田山キャンプ場】 4,044万円 ※R4改修完了

シャワー棟建設及びトイレ棟改修工事など

【大巖寺高原キャンプ場】 4,245万円

浴室をシャワー室に改修、旧牧場にテントサイトの開設など

● 体験型観光誘客の促進

(拡充) 5,148万円

- ・ 棚田ハウス、三省ハウスを活用した体験型観光の誘致
- ・ 冬季主要イベントの一体的実施による観光誘客の促進
- ・ 田舎体験などを主体とした教育旅行誘致の強化



大地の芸術祭の里ブランドの活用

● 「越後妻有 大地の芸術祭 2022」の 開催

(拡充) 3億5,868万円

- ・新たな時代に向けた地域づくりを目指し、R3年度から開催延期となった大地の芸術祭を開催
- ・長期間の開催により、密集のリスクを軽減した通年誘客に取り組む
- ・芸術祭のブランド化を推進し、2024年までの通年誘客化に向けた準備を開始
- ・大地の芸術祭は経団連の「地域協創」連携パートナーとして選ばれ、(株)良品計画をはじめ民間企業との連携を推進

【越後妻有 大地の芸術祭 2022】

▼会期 4月29日(金・祝)～11月13日(日) 145日間

▼主なプロジェクト

- ・越後妻有里山現代美術館MonET企画展
- ・新作(約100作品)を含む約300作品を公開(予定)
- ・オフィシャルツアーの充実



「手をとらずさえる塔」
(イリヤ・カバコフ ドローイング)



鞍掛純一+日本大学芸術学部彫刻コース有志
「脱皮する時」 Photo Kioku Keizo

関係人口の拡大・深化

● 旧早稲田大学校外施設の活用

(新規) 72万円

- ・観光庁の「上質な宿泊施設の開発促進事業※」の候補地に選定
 - ・市の新たな魅力を創出する施設にするため、民間の協力を得ながら有効的な活用を推進（施設総面積 約7ha）
- ※自治体と宿泊施設運営会社等のマッチングを行い、開発促進を図る事業



■ ふるさと納税を活用した 市内事業者のビジネス支援

(継続) 1億8,827万円

- ・ふるさと納税の積極的なPRにより十日町ファンを拡充
- ・中小事業者への商品デザイン等のアドバイスをを行い、ECサイト、ふるさと納税サイトへの出店を後押し
- ・返礼品の取扱高を増やすことで頑張る市内事業者を支援



怒涛の人の流れの創出

■ 中心市街地の拠点施設を活用した にぎわい創出 (継続) 3,077万円

- ・「分じろう」「十じろう」を拠点として、市民活動や中心市街地の活性化を推進
- ・市民が主体となり、商業の活性化や学生の十日町愛の育成を目的とする「とおか市」、「まちなか×GAKUENSAI」等のまちづくり活動を推進



分じろうでの「とおか市」の様子



「まちなか×GAKUENSAI」の様子

農業所得の向上・担い手の育成

● 園芸 1 億円産地化プロジェクトの推進

(拡充) 600万円

- ・園芸の導入拡大に挑戦する農業者を支援
- ・売上 1 億円増加に向けた生産拡大、有利販売の推進
R4 販売額目標 かぼちゃ5,500万円、ねぎ6,500万円
- ・切り花、枝豆の 1 億円産地化に向けた生産支援
- ・県や J A 等と連携した栽培技術指導、機械施設導入支援、販路拡大支援



■ 認定農業者などの支援

(継続) 1,705万円

- ・スマート農機を含む農業機械の導入を支援
- ・除雪などによる冬期収入確保のための大型特殊免許取得費を支援
- ・省力化に向けたドローン操縦免許取得費等を支援



2.活力ある元気なまちづくり (2) 活力ある農林業と魅力的な里山のあるまち 担い手の育成・生産基盤の整備

令和4年度 十日町市予算案

● 中山間地の営農組織を支援

(新規) 250万円

- ・ 中山間地を担う法人・生産組織の営農継続に必要な機械や施設の整備を支援



● 農村振興と農業基盤の強化

(拡充) 9億8,595万円

(令和3年度国補正を含む)

- ・ 中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金を活用した、農業農村の持続活動を支援
- ・ 棚田地域振興法に基づく加算取得等の推進
- ・ 「山谷稲葉地区」「入間地区」「木落地区」など20箇所の生産基盤を整備（ほ場区画整理、ため池、用水路、農道等）



森林の整備・鳥獣被害の防止

● 森林整備の促進 (拡充) 8,293万円

- ・「森林環境譲与税」を活用した私有林整備
(新規 伊達地区10ha)
- ・市有林・市行造林の整備 (33.9ha)



■ 鳥獣被害の防止 (継続) 455万円

- ・イノシシ等の農作物被害を防ぐため、電気柵設置を支援
- ・有害鳥獣駆除の担い手確保のため、狩猟免許取得やライフル銃の新規取得を支援
- ・研修会等の開催による地域ぐるみの被害防止の推進



地域雇用の維持・創出

■ 企業の設備投資と新規雇用を支援

(継続) 2億2,734万円

- ・企業の投資と雇用に対する積極的な支援
(雇用促進奨励金、利子補給金、事業用地取得・造成費助成金、大規模企業立地促進奨励金、資金融資など)

◎企業設置奨励事業 ◎企業投資促進事業

■ 企業の人材確保・育成の支援

(継続) 334万円

- ・企業が行う採用活動や人材育成研修などの取組みを支援
- ・中高生に地域の企業や産業の魅力を伝える「まちの産業発見塾」の開催 (津南町と合同)



市内企業の持続的な発展

■ プレミアム商品券発行事業を支援

(継続) 1億1,200万円

- ・市内消費活動の推進と経済の活性化をめざしたプレミアム商品券発行事業への支援



● ポストコロナ時代に向けた事業者の積極的な取組みを支援

(拡充) 4,110万円

- ・新たな事業にチャレンジする、大規模リフォームなどの取組みを支援
- ・展示会等への出展、十日町産品の発信、非接触型の販売環境の整備、飲食店の利用促進の取組みを支援
- ・商工団体が行う消費喚起策などを支援



産業の新しい展開と成長に向けて

■ 十日町産品の販路拡大を支援

(継続) 2,450万円

- ・ 新商品開発・6次産業化の取組みを支援
- ・ クロステンの地域商社を通じて小規模事業者の生産・加工品の販路拡大を支援
- ・ 首都圏営業所Towakoを活用した地場産品の販路拡大を支援



● 新規創業の支援

(拡充) 712万円

- ・ ビジネスプラン審査会による補助金の交付
- ・ 創業相談、創業セミナーの実施及び創業後のフォローアップ
- ・ 創業者のオフィス新規入居に対する支援 (新規)



市民による学びの場づくりへの支援

令和4年度 十日町市予算案

● 「森の学校」キョロコの施設改修 (新規) 1,273万円

- ・総合的学習や企業研修用の多目的スペース整備のための改修
- ・館内の主要展示照明のLED化 ほか



● 「森の学校」キョロコでの 自然環境教育の推進

(拡充) 899万円

- ・専任研究員の配置により、生物多様性など里山の自然環境を活用した体験型事業を充実
- ・学校教育との連携による総合的学習などの教育的利用の促進
- ・キョロコ生物部、里山の生き物探検 など



文化芸術活動の充実

令和4年度 十日町市予算案

● 第76回新潟県美術展覧会 十日町巡回展の開催

(新規) 180万円

- ・期日 令和4年6月8日(水)~12日(日)
- ・会場 なかさとアリーナ
- ・内容 日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門
- ・その他会場 新潟展、長岡展、上越展、佐渡展



● 多彩で親しみやすい公演の開催

(拡充) 496万円

自主事業の開催や他団体との共催事業

- ・鼓童十日町公演
- ・吉田正記念オーケストラ公演
- ・野村万作・萬斎狂言公演
- ・劇団四季ミュージカル公演 など



文化財の保存・活用の推進

令和4年度 十日町市予算案

● 文化財保存活用地域計画の策定

(新規) 831万円

- ・「十日町市歴史文化基本構想」(平成30年策定)のアクションプランとなる「十日町市文化財保存活用地域計画」を策定
- ・文化財の保存、承継、活用の循環により、まちづくりや、文化観光を推進



重要文化財 星名家住宅

■ 博物館特別展の開催

(継続) 437万円

- ・「田沢・壬遺跡群」(縄文時代草創期 16,000年前)の国史跡指定3周年を記念して秋季特別展を開催
- ・県内外の重要文化財指定品を含む出土品を展示



田沢遺跡近景写真

スポーツの振興

令和4年度 十日町市予算案

■ 十日町市武道館改修工事

(継続) 1億3,383万円

- ・耐震補強工事と合わせて照明設備のLED化や空調設備、トイレ等改修工事を実施

■ 競技力向上対策事業の実施

(継続) 330万円

- ・ジュニア選手層の発掘・育成・競技水準の向上を目的として陸上及びスキーの競技団体へ強化事業委託
- ・北信越大会以上の大会出場者を対象に、出場激励費として派遣費を補助



中山間地域対策の強化・充実

● 高齢化集落の機能維持を支援

(新規) 1,000万円

- ・ 高齢化の著しい集落等の課題解決に向けた取組みを支援
- ・ 地域における共助の仕組みづくりを進めるため、新たに「**高齢化集落等対策基金**」を創設

■ 地域おこし協力隊の

受入れによる地域の活性化を支援

(継続) 1億1,223万円

- ・ 地域密着型・ミッション型の地域おこし協力隊の起用で、集落活動や公的事業者を支援
- ・ 地域要望にマッチした外部人材の活用で地域の活性化を支援
 - 協力隊委嘱 令和3年度：19名⇒令和4年度：24名



地方回帰の促進

● 移住希望者への相談体制を強化

(拡充) 500万円

- ・ 地方回帰の流れを受け、増加する移住相談への相談体制を強化
- ・ 移住希望者に対して「住まい・しごと・子育て」などの総合窓口として「**移住コンシェルジュ**」を新たに設置
- 相談実績 令和2年度：66件 ⇒ 令和3年度：246件



● U I ターン者への積極的な移住支援

(拡充) 4,217万円

- ・ U I ターンした若者や三世帯同居する単身者、世帯に対し、助成金を交付し移住後の暮らしをバックアップ
- ・ **子育て世帯に対して助成額を拡充**。子ども1人につき10万円を助成し子育てを応援（子どもの数の上限なし）
- 助成金活用 令和2年度：152人 ⇒ 令和3年度：180人（見込み）



地方回帰の促進

● まつのやま学園で雪里留学生の受入れを開始 (新規) 2,395万円

- ・ 令和2年から進めてきた、地域外の児童・生徒を受け入れる「雪里留学」の体制を整備
- ・ 雪里留学生の受入れのため、生活の場となる寄宿舍（藤倉ハウス）を改修



■ 若者の奨学金返還を支援 (継続) 1,050万円

- ・ 年度当たり上限20万円、5年間で最大100万円を補助
- ・ 市内に住所を定め、学校を卒業して就業しながら奨学金の返還を始める若者に奨学金相当額の補助金を交付し、若者の市内定住を促進
- ・ 令和3年度実績：30件、総額292万円（R4.2.10現在）



男女の出会い・交流機会の充実

■ 結婚を望む男女を強力サポート (継続) 1,290万円

- ・ハピ婚サポートセンターで専門のコーディネーターや市民サポーターが、結婚を望む男女の出会いをバックアップ
- ・新潟県が運営する「ハートマッチにいがた」の入会登録費を継続して支援（助成額6,000円／登録費11,000円）
 - 成婚実績 令和3年度8組（累計45組）

● 若者の結婚新生活の支援を拡充 (拡充) 360万円

- ・新婚世帯を資金面で支援し、若者の結婚促進を加速
- ・結婚生活に必要な住宅賃借料や引越し代に加え、新たに住宅改修費等の経費の一部を最大30万円助成



防災体策の充実

■ 防災無線で安全・安心な暮らしをサポート (継続) 1,390万円

- ・平成30年度から着手した「デジタル同報系防災行政無線」を市内各所の屋内外に配置
- ・災害時の避難情報の伝達や日常の防災情報と感染対策など、市民に直結した情報を適時発信
- 屋内受信機約2万台、屋外拡声器89基、防災情報システム導入



■ 空き家対策の取組み強化

(継続) 822万円

- ・空家条例、空家等対策計画に基づき、危険な空き家の所有者に対して厳格な対応指導の取組みを強化
- ・緊急安全措置、行政代執行等により周辺住民の安全を確保
- ・出前講座等による空き家の管理に関する住民等への意識啓発
- 代執行：4件、緊急安全措置：6件、所有者自力処分31件（2年間）



消防・救急体制の充実

【十日町地域広域事務組合事業】

● 高機能消防指令センター機器等の更新 (新規) 6,265万円

- ・ 24時間365日安定した消防指令体制の維持
- ・ 迅速かつ確実に災害、救急現場に部隊を出動させ、救命率の向上及び災害による被害を軽減

【十日町地域広域事務組合事業】

● 南分署改修事業 (新規) 300万円

- ・ 庁舎の長寿命化、新型コロナウイルス感染症対策を講ずるとともに、女性職員活躍促進のための改修

【事業期間】 令和4年度・5年度

【総事業費】 6,300万円 (見込み)

令和4年度事業：実施設計業務委託 (令和5年度：改修工事)



健康づくりの推進

● 後期高齢者歯科健康診査事業を開始

(新規) 110万円

- ・ 口腔機能低下や肺炎等の疾病予防のため、後期高齢者（76歳、80歳）を対象に市内協力歯科医院で歯科健診を実施（自己負担額なし）

※健診内容：歯周病検診の項目に加え、高齢者の特性を踏まえた口腔機能の評価など



■ 生涯健康サポート事業を実施

(継続) 855万円

- ・ 高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施
- ・ 国保データベースシステムを基に健康課題を分析し、介護予防や生活習慣病などの健康教育を実施



地域医療の充実

● 助産師の就業を支援

(拡充) 210万円

- ・「看護・介護職員就業支度金支給事業」の対象資格に「助産師」を加え、周産期医療や介護現場での人材不足解消を目指す
- ・(新規) 助産師：75万円又は45万円
- ・(継続) 看護師：50万円又は30万円、介護職員：10万円

● 県立十日町看護専門学校の学生の継続支援

(拡充) 450万円

- ・県立十日町看護専門学校の学生に対する通学費補助の対象を現行の1・2学年時のみを3学年時まで拡充(上限3万円/年)
- ・家賃補助(上限12万円/年)も継続

■ 全国でもトップクラスの 医師確保策を継続

(継続) 260万円

- ・施設整備補助：対象経費の1/2 (限度額5,000万円)
- ・設備整備補助：対象経費の1/2 (限度額1,000万円)
- ・既存医療施設後継補助、利子補給など



地域包括ケアシステムの推進

● 新潟大学寄附講座「十日町いきいきエイジング講座」新たなステージへ (新規・拡充) 2,900万円

- ・ (継続) 第1期分1,450万円 (令和4年9月まで)
- ・ (新規) 第2期分1,450万円 (令和4年10月から)
- ・ 第1期の成果：市立の訪問看護ステーションおむすびの開設
- ・ 第2期の展望：「出向くケアと医療」の強化と発展
 - ▶ 持続可能な医療介護の提供体制を構築するための新たな計画の策定、訪問看護の強化、医療介護の人材確保・市民啓発等

【訪問看護事業特別会計】

● 訪問看護ステーションおむすびの体制を拡充 (拡充) 3,480万円

- ・ 在宅におけるリハビリによる機能改善ケースの増加や24時間対応、精神科受診患者への訪問など、ニーズの高まりにより専門スタッフを2名増員 (看護師1名、理学療法士1名)



再生可能エネルギーの活用

■ 水素利活用の民間との実証事業

(継続) 5,100万円

- 下水処理センターに太陽光発電施設を整備し、水素エネルギーを効率的に利用するための技術実証施設的设计

● 水力発電事業の推進

(新規・継続) 2,000万円

- 清田山キャンプ場での農業用水を活用した小水力発電の調査
(継続) 1,500万円
- JR東日本信濃川発電所宮中取水ダムから放流される維持流量を活用した水力発電の課題検討
(継続) 200万円
- 一級河川渋海川（浦田地内）の流量調査 (新規) 300万円



下水処理センター



渋海川

再生可能エネルギーの活用

● 再生可能エネルギー利用設備の導入支援 (拡充) 1,480万円

- ・一般家庭や事業所への太陽光発電・蓄電池・地中熱利用設備や木質バイオマスストーブ等の設置を対象とした補助金交付
- ・太陽光発電の補助上限額を60万円から**100万円に拡充**



太陽光発電設備

■ 太陽光発電・蓄電池設備の公共施設への導入

(継続) 8,970万円

「再エネ利用促進」と「非常用電源の確保」を目的とした設備導入

- ・設備工事 8,200万円
 - 本庁舎 太陽光：28kW 蓄電池：22kW
 - 千手小 "：12kW "：22kW
- ・実施設計 770万円 水沢中学校、まつのやま学園



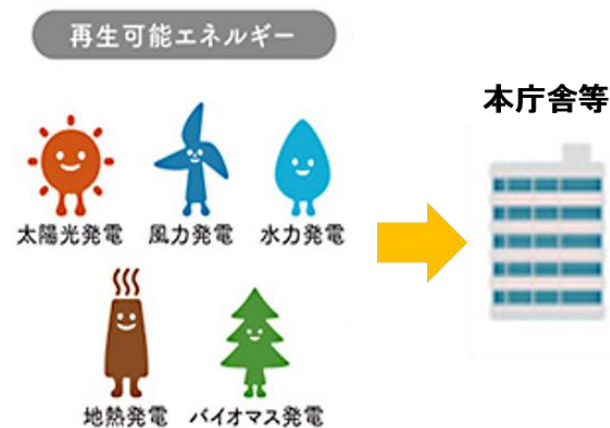
市役所本庁舎 (南側)

再生可能エネルギーの活用

● 再生可能エネルギーで発電された電気の購入開始

(新規) 200万円

- 「第4期十日町市地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素推進のため、市庁舎及び小中学校等の電気利用のうち30%は、再生可能エネルギーで発電された電気を購入
- この取組みによる二酸化炭素削減量
【令和4年度】537 t -CO₂
※ 令和7年度までの削減目標量 2,266 t -CO₂



脱炭素・循環型社会の推進

■ 次期一般廃棄物最終処分場の竣工 (継続) 10億8,397万円

9月の竣工を目標に水処理設備・外構工事の実施

【事業期間】 令和元年度～令和4年度

【全体事業費】 34億4,356万円

【R4工事概要】

- ・ 水処理設備 浸出水の浄化に係る機器の設置
- ・ 外 構 場内道路舗装、側溝敷設、法面植生
- ・ 遮 水 工 貯留構造物内の遮水シート敷設・漏水検知システムの設置
- ・ 盛 土 工 敷地造成、法面整形、搬入道路形成



完成イメージ



工事の進捗状況 (令和3年12月)

脱炭素・循環型社会の推進

● プラスチック類の収集品目の拡大と 収集日の増設

(拡充) 850万円

- ・発泡スチロール製の保冷箱・梱包材・ペットボトルのラベルや菓子の外袋等を新たに資源物として回収
- ・「プラスチック類」と「白色トレイ」の収集日を統合し、増加するプラスチックの回収を月3回から月4回に変更



新たに回収対象となるプラスチック類の一例

■ 十日町市エコクリーンセンターの 計画的な補修

(継続) 1億1,906万円

- ・安定した稼働と施設の延命化を図るため、施設の点検や補修工事を計画的に実施
- ・1・2号炉内耐火物補修工事
- ・1・2号排ガス6成分分析計点検整備工事 (ほか)



ごみ焼却2号炉内部 耐火物の状況

生活交通の確保・利便性の向上

● 魚沼基幹病院への直通バスを運行

(新規) 992万円

- ・ 十日町市内から魚沼基幹病院までの直通バスを実証運行
- ・ 魚沼基幹病院への通院やJR浦佐駅の新幹線利用など、利用者の利便性を向上



上下水道の整備

■ 清津峡地区の水道整備

(継続) 2億7,930万円

- 水道未普及地域 (小出,角間,葎沢) の解消事業

【事業期間】 令和元年～6年度 / 【総事業費】 C=10.4億円

【令和4年度事業】

配水管整備 (角間～葎沢) L=960m、配水池新設 2池 (ほか)



■ 水道整備への助成

(継続) 320万円

- 水道未普及地域で、集落等が行う水道施設の整備及び既存の水道施設の修繕に必要な経費の一部を補助

【補助率】

◆施設の新設及び更新 : 70%

◆施設の修繕 : 80% (交付金額 : 上限10万円)

【令和4年度事業】

施設の新設、修繕 : 新田集落 (松之山地域) (ほか) 2件



上下水道の整備

令和4年度 十日町市予算案

■ 下島地区の浸水対策

(継続) 3,900万円

【事業期間】平成26年～令和4年度(完了)

【令和4年度】「高田雨水幹線」管渠布設工事 L=60m (ほか)

● 農集処理区を特環処理区へ接続

・ 鐙島地区 (継続) 5,300万円

【事業期間】令和3年～7年度

【令和4年度】接続管布設工事 L=350m

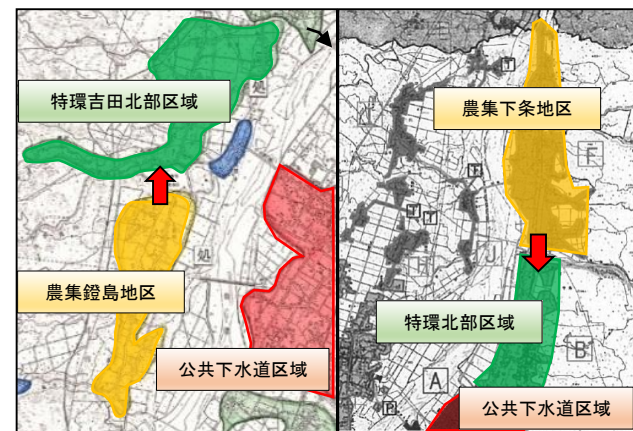
・ 下条地区 (新規) 3,100万円

【事業期間】令和4年～10年度

【令和4年度】処理区接続のための実施設計業務委託 1式



豪雨による浸水状況 (H25.8)



鐙島地区

下条地区

※汚水処理施設を統廃合することで維持管理費の低減と施設管理の効率化を図る。

道路網の整備

■安全・安心な「みちづくり」

(継続) 10億6,735万円

(令和3年度国補正を含む)

整備路線：30路線

道路改良延長 L=1,643m (28路線)

歩道整備延長 L= 200m (2路線)

・主な路線

稲荷町線 (踏切・橋梁)、本町西線 (西田川橋歩道橋)
木島伊友線、干溝市之越線、松代大島線、松口松之山線

・上沼道十日町道路へのアクセス道路整備

高山水沢線：塚原町～城之古東町地内の用地測量、物件
調査に着手



道路網の整備

■ 道路施設の計画的な点検・修繕

(継続) 3億6,167万円

(令和3年度国補正を含む)

国の国土強靱化基本計画に基づき、老朽化が進む道路施設の点検・修繕を推進し、**予防保全型の維持管理へ転換**

- ・道路施設点検：橋りょう 34橋 シェッド・シェルター 5基
- ・橋りょう修繕工事：3橋 観音寺橋、妻有橋、前島橋
- ・橋りょう補修設計：1橋 あさひ橋
- ・大規模舗装修繕：7路線
川治昭和町線、停車場山本線、浅河原新町新田線、
清田山線、孟地荒瀬線、藤原修行者線、湯本兔口線



橋りょう点検



劣化が進んだ舗装

住宅・公園などの整備

令和4年度 十日町市予算案

■ リフォームによる住環境の向上を促進

(継続) 5,000万円

- ・ 建築関連産業に2か年で18億円を超える経済効果のあった、住宅リフォーム補助事業を推進
 - ◆補助率：20% ◆補助上限額：10万円



＜事例＞トイレのリフォーム

■ 公営住宅を計画的に改修

(継続) 3,311万円

- ・ 公営住宅等長寿命化計画に基づき、松代地域の下町第2住宅A棟（6戸）の屋根及び外壁を改修



＜改修事例＞
市営下町住宅外部
改修工事(H28実施)

住宅・公園などの整備

令和4年度 十日町市予算案

● 川西総合緑地公園の整備を実施 (新規) 446万円

節黒城跡、節黒城跡キャンプ場、ナカゴグリーンパークの活用基本方針を策定し、公園全体の環境を整備

- ・川西総合緑地公園整備事業計画策定委託



節黒城跡からの大名行列

■ 公園施設の老朽化対策を実施 (継続) 1,164万円

ナカゴグリーンパーク内ショートゴルフ場の老朽化対策を実施

- ・ナイター照明の撤去工事
- ・ネットワイヤーの修繕工事



キャンプ場バンガロー



ナカゴの大地から見る田園と越後三山

計画的な土地利用の推進

令和4年度 十日町市予算案

■ 地籍調査の推進

(継続) 7,348万円

(令和3年度国補正を含む)

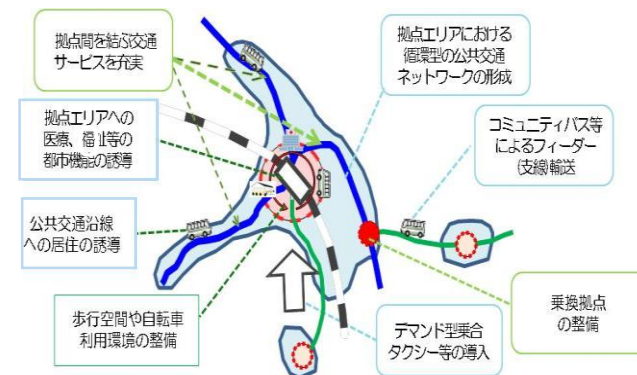
- ・松代第1、第2計画区の調査完了(8計画区のうち)
- ・松之山第1、第2計画区の3か年調査のうち2年目を実施
- ・十日町地域は新たに八箇地区へ着手



■ まちづくり計画の推進

(継続) 1,050万円

- ・コンパクトなまちづくりと地域交通の再編による将来都市構造の実現に向けて、立地適正化計画の検討、策定を推進



都市構造のイメージ図

市道除雪の充実

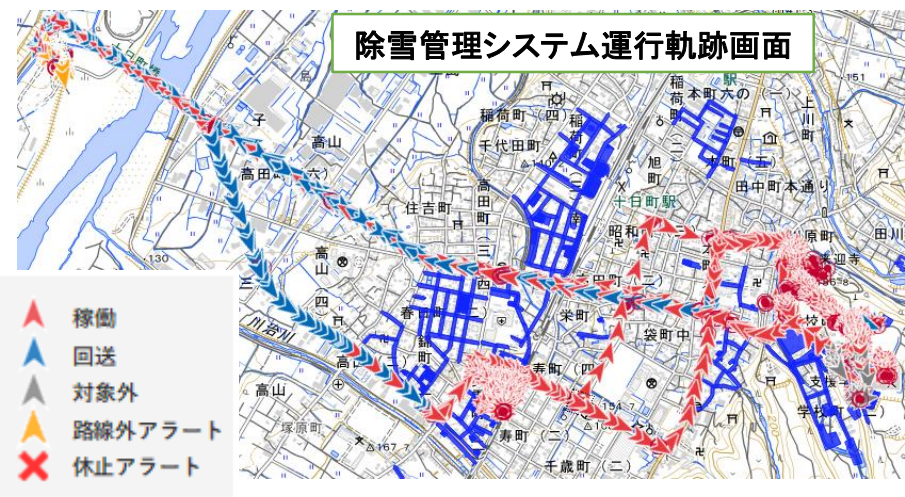
■ 冬期間の安全・安心な交通確保 (継続) 13億4,993万円

- ・ 除雪基本料前払い制度による安定した除雪体制の維持
- ・ 除雪管理システムの活用による効率的な除雪業務
- ・ 消雪パイプの電気料・維持管理にかかる経費
- ・ 流雪溝の運営管理にかかる経費



排雪作業を伴う道路拡幅

市道機械除雪延長 : 約480km
 市道消雪パイプ延長 : 約 86km
 市道流雪溝延長 : 約 53km



除雪管理システム運行軌跡画面

 開始	 稼働
 終了	 回送
 方向不明	 対象外
 担当路線	 路線外アラート
	 休止アラート

市道除雪の充実

■ 除雪車の計画的配備

(継続) 2億7,092万円

除排雪経費の抑制・除雪体制の安定化を図るため、更新に加え、**ロータリ除雪車を増強**

- ・更新：ロータリ除雪車、タイヤドーザ、小型除雪車 計4台
- ・増強：ロータリ除雪車2台



● 除雪機械車庫の建設

(新規) 5億2,350万円

現車庫の更新に併せ、今後の除雪車の増強を見据え、**格納台数を拡大** (11台 → 23台)

- ・除雪機械車庫敷地造成工事
- ・除雪機械車庫建設工事、工事監理業務委託



市道除雪の充実

令和4年度 十日町市予算案

■ 消雪パイプの計画的な更新

(継続) 2億6,950万円

(令和3年度国補正を含む)

老朽化が進む消雪パイプを計画的に更新

- ・ 消雪パイプ、井戸の更新 (舗裝修繕含む)
春日町、中仙田、貝野地内 3箇所
- ・ 老朽化した井戸ポンプの更新
本町西線ほか 5基

■ 流雪溝の整備を推進

(継続) 1億4,620万円

計画的に測量設計を進めてきた、**学校町地内の流雪溝整備**に着手

- ・ 十日町地域学校町地区、川治地区、川西地域 L=1,020m
- ・ 川西地域流雪溝導水管設計委託



● 雪下ろし時の転落事故を防止

(新規・継続) 2,515万円

(令和3年度国補正を含む)

ハード対策 (継続) 275万円

- 住宅屋根への**転落防止装置(命綱固定アンカー等)**の設置に対する補助(補助率:工事費の50%)
 - ◆補助上限額:一般世帯 10万円(要援護世帯 15万円)



安全装置を活用した雪下ろし作業

ソフト対策 (新規) 2,240万円

- 集落雪対策計画の策定(予定)
 - ◆自立的で安全な地域除排雪体制の実現に向けた方針策定
- 住宅屋根転落防止対策の普及促進(予定)
 - ◆安全器具(フルハーネス等)の購入に対する補助
 - ◆転落防止装置(固定アンカー)設置済み住宅の雪下ろし作業費に対する補助
 - ◆普及促進に向けた啓発活動等



フルハーネス装着イメージ

■ 住宅の克雪化を促進

(継続) 1,749万円

人力による雪下ろしなど住宅の屋根雪処理に伴う過大な負担と危険の軽減、冬期の居住環境の改善を図るため、住宅の克雪化工事費への補助を促進

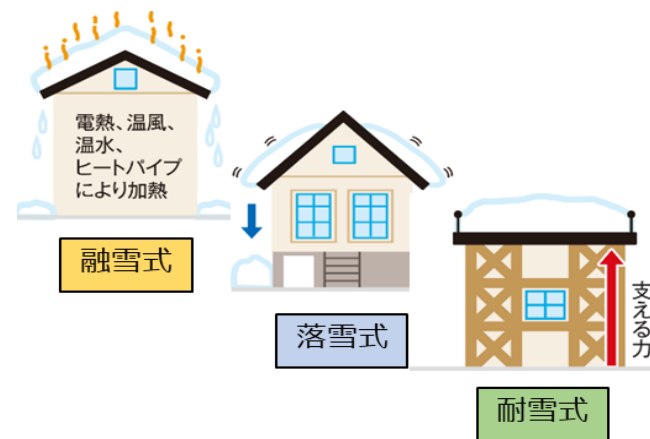
◆ 補助上限額

融雪式・・・・・・・・・・44万円

耐雪式、落雪式・・・・・・・・33万円

※中心市街地活性化区域内で融雪、耐雪式の場合、最大22万円上乗せ

※要援護世帯の場合、最大11万円上乗せ



克雪住宅の方式



融雪式屋根の様子

地域自治の推進

■ 地域自治組織の自治活動を支援

(継続) 6,452万円

- ・ 公共を支えるパートナーである市内13自治組織に対し、交付金を交付することで地域活動をサポート
- ・ パワーアップ事業により、自治組織の人口増加に取り組む活動を支援し、地域ぐるみでの人口対策を強化



■ 地域支援員による課題解決の促進

(継続) 1,275万円

- ・ 地域が直面する特有の課題に対して、関係者の調整や話し合いを通して地域住民が自ら考え解決するための取組みを推進
- ・ 地域と行政をつなぎ、地域の継続・発展に向けた対策の企画や事業の実施



自治体DXの推進

● 令和4年度 十日町市予算案 ●

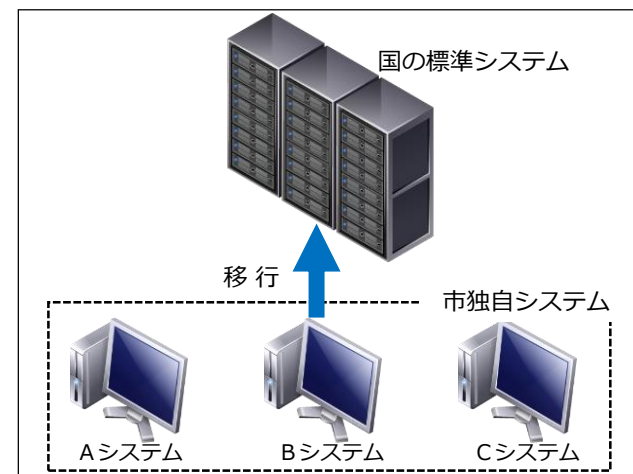
● 行政手続きの電子申請化を促進 (拡充) 345万円

- ・ 押印廃止をはじめ、行政手続きの抜本見直しを実施
 - ・ 国の電子申請システム「ぴったりサービス」(※)で申請できる手続きを拡充し、市民による行政手続きの簡略化を推進
- ※児童手当・介護認定等の各種手続きなど



● 国のデジタル標準システムへの移行 (新規) 1,749万円

- ・ 令和7年度までに住民基本台帳などの基幹系システムを、国の標準化基準に適合したシステムに移行
- ・ 国による制度改正や緊急的な事業の実施などに迅速に対応するため、行政のデジタル化を推進



ご清聴ありがとうございました



2022

Tokamachi
City